

平成 28 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社 AKIBA ホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 下津 弘享  
 (JASDAQ・コード番号 6840)  
 問合せ先 取締役管理本部長 五十嵐 英  
 (TEL. 03-3541-5068)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想と実績の差異  
 及び平成 29 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、平成 28 年 5 月 13 日に公表しました通期の業績予想を修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異の発生

(1) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期 連結累計期間連結業績予想値と実績値との差異  
 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,000	百万円 0	百万円 0	百万円 △15	円 銭 △1.67
今回修正予想 (B)	2,350	△ 6	△18	△30	△3.33
増減額 (B - A)	350	△ 6	△18	△15	
増 減 率 (%)	17.5	-	-	-	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	2,154	58	60	23	2.64

(2) 差異の理由

売上高につきましては、コンテンツ事業において、CD 業界が縮小傾向であること、ヒット作がなかったこと等により、また、通信コンサルティング事業において、期初に見込んでいた大口案件の売上が第 3 四半期以降となったことから予想を下回ったものの、メモリ製品製造販売事業において、コンシューマ向け PC 用途のメモリの出荷が順調に推移したことから、当初予想を上回る結果となりました。しかしながら、コンテンツ及び通信コンサル事業の売上高の減少、急激な為替変動の影響による差損の発生により、利益につきましては、当初予想を下回る結果となりました。

## 2. 通期業績予想値の修正

### (1) 平成 29 年 3 月期通期業績予想値の修正

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,000	180	170	90	10.03
今回修正予想 (B)	5,000	40	35	10	1.08
増減額 (B - A)	0	△140	△135	△80	
増減率 (%)	0	△77.7	△79.4	△88.8	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	4,706	138	139	56	6.27

### (2) 修正の理由

売上高につきましては、コンテンツ事業において CD 業界の縮小傾向が継続すると想定されること、通信コンサルティング事業において、受注状況が当初予測を下回って推移していること等から、両事業において当初予測を下回るものの、コンシューマ向け PC 用途のメモリの出荷が上期に引き続き好調に推移するものと見込まれるため、当初予想を達成する見込みであります。しかしながら、利益については、主に利益率の高い通信コンサルティング事業の売上高減少の影響が大きく、当初予想の達成は困難と判断し、通期業績を修正することといたしました。

※ 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上